

第1回日本臨床細胞学会秋期大会(1962年)

Since 1956

1962年 11月 9日 都ホテル (京都府)



学会長 水野潤二

学会トピックス

パネルディスカッション 主題:細胞診について

A. その採取法 7題

B. その処理法 9題

一般講演 9題

抄録は当日に受付に提出



1962年、こんなことがありました

会員数 228名

・12月 日本臨床細胞学会雑誌第1巻第1号が創刊され、増淵一正,M.D.が日本臨床細胞学会設立経過を報告、細胞学会雑誌年2回発行。

- ・ 8月 堀江謙一、ヨットで太平洋単独横断に成功、サンフランシスコ入港。
- ・ 8月 戦後初の国産飛行機・YS-11、試験飛行に成功。
- ・ 9月 金田正一投手(国鉄)、専三振3514の世界新記録。

写真提供: 関西医大滝井病院 松波光代氏

第2回日本臨床細胞学会秋期大会(1963年)

Since 1956

1963年10月8日 中町農協会館ホール (福島県)

学会トピックス

学会長 貴家寛而

シンポジウム 肺癌の細胞診 10題
シンポジウム 各種治療経過と細胞診 14題
一般演題 8題



1965年、こんなことがありました

会員数 378名

- ・ 8月 沖縄離島航路「みどり丸」転覆、死者・不明112人。
- ・ 11月 日米間テレビ宇宙中継受信実験成功 (ケネディ暗殺ニュース受信)。

第3回日本臨床細胞学会秋期大会(1964年)

1964年11月3日 鳥取大学 (鳥取県)

Since 1956



学会長 綾部正大

学会トピックス

- シンポジウム 細胞診における標本採取法
- シンポジウム 特殊腫瘍(癌をのぞく)の細胞診
- シンポジウム 細胞診における癌細胞判定の限界



1964年、こんなことがありました

会員数 502名

- ・7月 日本臨床細胞学会第1回東北地方会開催。
- ・11月 第12回アメリカ細胞学会総会が開催される。

- ・10月 東海道新幹線開通。
- ・10月 第18回オリンピック・東京大会、94カ国、5541人の選手が参加。

第4回日本臨床細胞学会秋期大会(1965年)

Since 1956

1965年11月24日 金沢商工会議所会館 (石川県)



学会長 赤須文男

学会トピックス

- シンポジウム 産婦人科内分泌疾患の細胞学的診断
- シンポジウム 各科における細胞診(胃癌, 肺癌, 前立腺癌, 口腔外科の細胞診)
- シンポジウム 細胞診の簡易実用化の問題



1965年、こんなことがありました

会員数 602名

- ・9月 2nd International Congress of Cytologyの開催(パリ)
- ・12月 厚生省政務次官会議がん対策小委員会で「がん対策の推進について」が決議される。
「がん対策の5本柱」として、1.がんに対する正しい知識、2.健康診断の実施、
3.医療設備の整備、4.専門技術者養成、5.がん研究の促進、が提言される。

- ・10月 朝永振一郎にノーベル物理学賞授与と発表。
- ・12月 東大・名大・群馬大各附属病院の無給医局員
340人身分保証を要求し初の診療拒否。

写真提供:中西 功夫先生

第5回日本臨床細胞学会秋期大会(1966年)

Since 1956

1966年11月13日 熊本県福社会館(熊本県)

学会トピックス

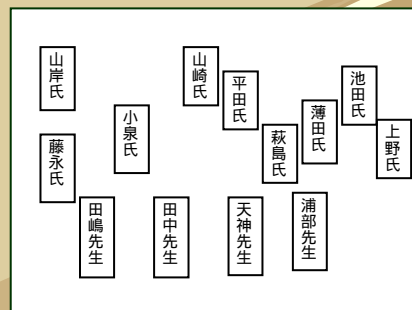
特別講演 胃直視下細胞診 信田重光 先生
シンポジウム 胸水・腹水の細胞診 司会:林田健男 先生
一般演題



学会長 加来道隆



昭和40年頃 細胞診研修会にて



1966年、こんなことがありました

会員数 659名

- ・ 9月 台風26号, 死者・不明316人.
- ・ 11月 全日空YS-11, 松山空港沖で墜落, 50人全員死亡.

写真提供: 田中 昇先生

熊本医療センター 廣瀬英治氏

第6回日本臨床細胞学会秋期大会(1967年)

Since 1956

1967年10月18日 岩手教育会館 (岩手県)



学会長 秦 良磨

学会トピックス

シンポジウム 集団検診と細胞診

A. 子宮癌の集団検診

司会: 九嶋勝司 先生

B. 胃癌の集団検診

司会: 山形徹一 先生

C. 肺癌の集団検診

司会: 香月秀雄 先生

シンポジウム 基礎細胞学から見た悪性細胞の特徴

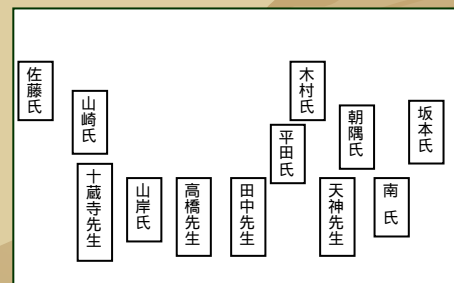
司会: 太田邦夫 先生

シンポジウム 組織化学と細胞診

司会: 御園生 雄三 先生



昭和40年頃 細胞診研修会にて



会員数 694名

1967年、こんなことがありました

- ・厚生省、子宮がん検診に助成開始。
- ・細胞診技術者(細胞診技士)養成委員会開催。(委員長水野潤二)

- ・9月 四日市ぜんそく患者、石油コンビナート6社に慰謝料請求訴訟。
- ・10月 佐藤首相、第二次東南アジア・オセアニア諸国訪問に出発。
- ・10月 三派全学連、抗議デモ、警官隊と衝突。京大生山崎博昭死亡(第1次羽田事件)。

写真提供: 田中 昇先生

盛岡臨床検査センター 川村知正氏

第7回日本臨床細胞学会秋期大会(1968年)

Since 1956

1968年11月23日 広島市商工会議所ビル (広島県)

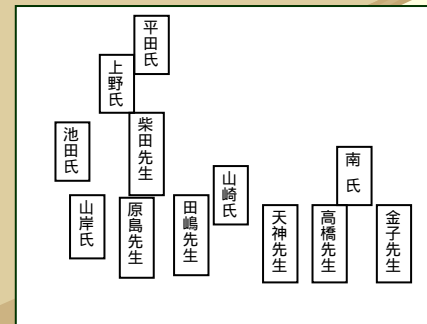


学会長 和田 直

学会トピックス

特別講演 口腔内領域における細胞診
シンポジウム 1. 直接採取法による細胞診
2. 放射線の細胞に及ぼす影響

渡辺義男 先生
司会: 飯島宗一 先生 田嶋基男 先生
司会: 河合直次 先生 香月秀雄 先生



1968年、こんなことがありました

細胞診指導医数 65名

・11月 第1回サイトスクリーナー研究部会を開催し、サイトスクリーナーのためのスライドカンファレンスを実施したところ、全国的に地域差のあることが判明する。

- ・ 8月 札幌医大教授・和田寿郎、日本初の心臓移植手術(83日後患者死亡)。
 - ・10月 厚生省、カネミ倉庫製米ぬか油中毒事件で販売停止通達(カネミ油症事件)。
 - ・10月 川端康成、ノーベル文学賞受賞。
 - ・12月 3億円事件、東京府中市で白バイ警官に変装した男が現金輸送車を奪い逃走。
- 50年時効成立。

写真提供: 田中 昇先生
呉共済病院 青木 潤氏

第8回日本臨床細胞学会秋期大会(1969年)

Since 1956

1969年11月7日 前橋市群馬会館 (群馬県)



学会長 藤森正雄

学会トピックス

シンポジウム	内分泌診断を中心とした産婦人科細胞診の応用	司会:松本清一 先生
シンポジウム	現段階における胃生検と細胞診の関連性	司会:村上忠重 先生
シンポジウム	セックスクロマチン	司会:島田信勝 先生
シンポジウム	癌細胞の電顕像	司会:小野江為則 先生



1994年 細胞検査士ワークショップ開催



2002年 日本臨床細胞学会関東連合会開催



城下先生 山田先生



スタッフ



ラウンドテーブルディスカッション
~細胞診今現場では~



細胞診指導医数 103名

細胞検査士数 68名

1969年、こんなことがありました

・8月 第2回細胞検査士資格認定試験。(136名受験60名合格)試験後、試験講評、合格者氏名と筆記試験模範解答など臨床病理雑誌に公表される。

- ・11月 反安保全国実行委・沖縄連共催首相訪米抗議集会、全国120カ所で72万人参加。
- ・11月 球界の黒い霧事件、永易将之投手(西鉄)永久追放。翌年にかけて数人永久追放。

写真提供:群馬大学医学部保健学科 福田利夫先生

群馬大学医学部附属病院 堀越美枝子氏

第9回日本臨床細胞学会秋期大会(1970年)

Since 1956

1970年11月6日 鹿児島県産業会館 (鹿児島県)



学会長 佐藤八郎

学会トピックス

特別講演	代謝面よりみた腫瘍細胞の特異性	柚木一雄 先生
シンポジウム	自己採取スメア	司会:滝 一郎 先生
シンポジウム	胃境界領域病変の細胞診	司会:村上忠重 先生
シンポジウム	肺疾患の非開胸生検細胞診の開発と成績について	司会:香月秀雄 先生



松原先生
今村先生



鹿児島県細胞検査士勉強会
発足当時の写真



山岸氏
田嶋先生
松原先生
今村先生



平成5年度鹿児島大学医学部第二内科同門会総会 平成5年6月12日 於:城山観光ホテル

鹿児島ではこの学会の直後から技師の勉強会を開始
松原先生、今村先生は当時の学会の実行委員として活躍

1970年、こんなことがありました

細胞診指導医数 118名

細胞検査士数 137名

- ・10月 第2代会長山崎正道逝去(10月19日,享年36歳)により,会長代行に浦部幹雄就任.
- ・12月 第3回細胞検査士資格認定試験(136名受験69名合格).試験後,試験講評,合格者氏名と筆記試験模範解答など臨床病理雑誌に公表される.

- ・7月 東京杉並の高校生,光化学スモッグで倒れる.
- ・9月 整腸剤キノホルムがスモン病の原因に関係ありとして厚生省,使用・販売中止を通達.
- ・11月 三島由紀夫と楯の会会員4人,東京の自衛隊東部方面総監部に乱入,三島ら2人割腹自殺.

写真提供:天陽会中央病院 今村進一先生